

2023年4月28日
SCSK株式会社

SCSKグループ中期経営計画(FY2023-FY2025)を策定 ～「2030年 共創 IT カンパニー」実現に向け第二期始動～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、「SCSKグループ中期経営計画(FY2023-FY2025)」を策定しました。

1. 経営計画全体像(本中期経営計画の位置付け)

SCSKグループは、経営理念に「夢ある未来を、共に創る」を掲げています。経営理念を実践するにあたり、社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会と共に成長するために、特に重要ととらえ、優先的に取り組む課題を「マテリアリティ」として2020年に策定しました。併せて、経営理念とマテリアリティをSCSKグループの存在意義としたうえで、中長期の目指す姿として「グランドデザイン 2030」を策定しました。お客様やパートナーと共に社会課題の解決に貢献するビジネスを創り出すことによって、「2030年 共創 IT カンパニー」の実現を目指すというものです。「2030年 共創 IT カンパニー」の実現に向けた実行計画が「中期経営計画」であり、本中期経営計画(FY2023-FY2025)は、「グランドデザイン 2030」の第二期として位置付けております。



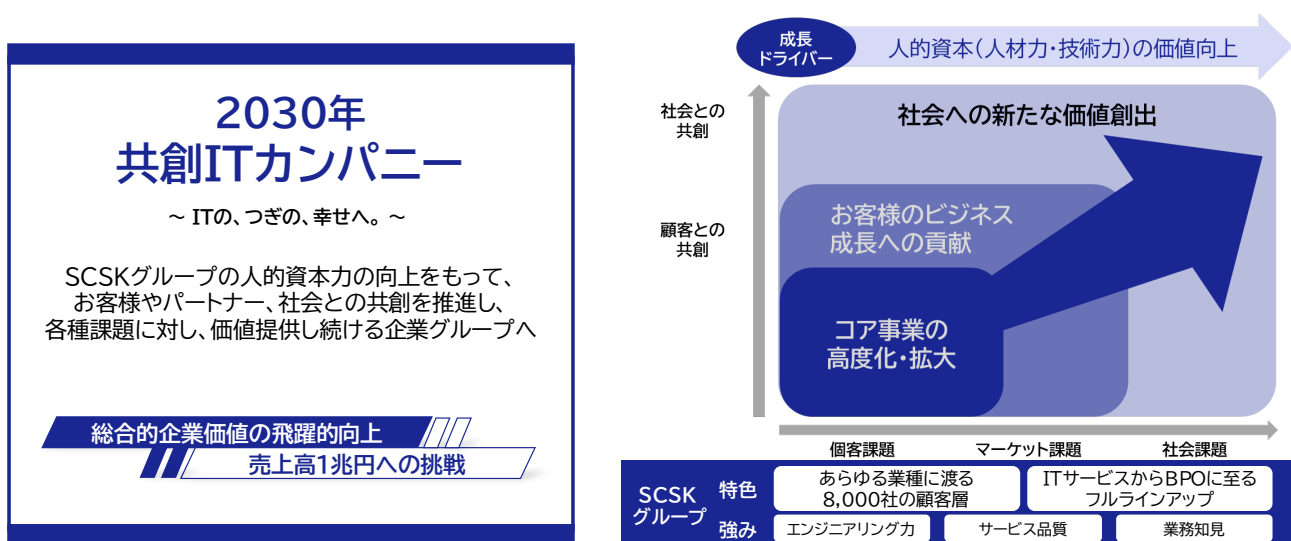
また、SCSKグループは従来から、社会課題の解決に貢献するビジネスを創出し、社会と共に持続的成長を果たすため、企業の社会的な影響力と責任を踏まえ、「サステナビリティ経営」に取り組んできました。脱炭素や循環型社会の実現に向けた事業環境の変化をチャンスと捉え、我々のコアコンピタンスを活用した新たな事業機会を獲得し、社会と共に持続的に成長することを目指す「成長戦略としてのサステナビリティ経営」を経営のスタンスとして、今後も強化していきます。

2. グランドデザイン2030

SCSKグループが目指す「共創 IT カンパニー」は、人的資本力の向上をもって、お客様やパートナー、社会との共創を推進し、各種課題に対し、価値提供し続ける企業グループです。「2030年 共創 IT カンパニー」を実現するために、本質的な企業力として、「経済価値」と「社会価値」「人的資本価値」などの非財務要素を包含した企業価値である“総合的企業価値”の飛躍的向上を実現します。

<「2030年 共創 IT カンパニー」に向けた経営方針>

- ① コア事業の高度化・拡大
 - ・ 人材力・技術力を高度化し、お客様のパートナーとしてデジタル化・事業変革に貢献
 - ・ 収益力を高度化し、持続的成長に向けた将来への投資余力・成長余力を創出
- ② お客様のビジネス成長への貢献
 - お客様との取引・共創により得た知財・知見を活かし、マーケット全体の課題解決に貢献
- ③ 社会への新たな価値創出
 - コア事業の知見を起点に、社会課題解決をリードする「次世代デジタル事業」の創出に挑戦



3. SCSKグループ中期経営計画(FY2023-FY2025)

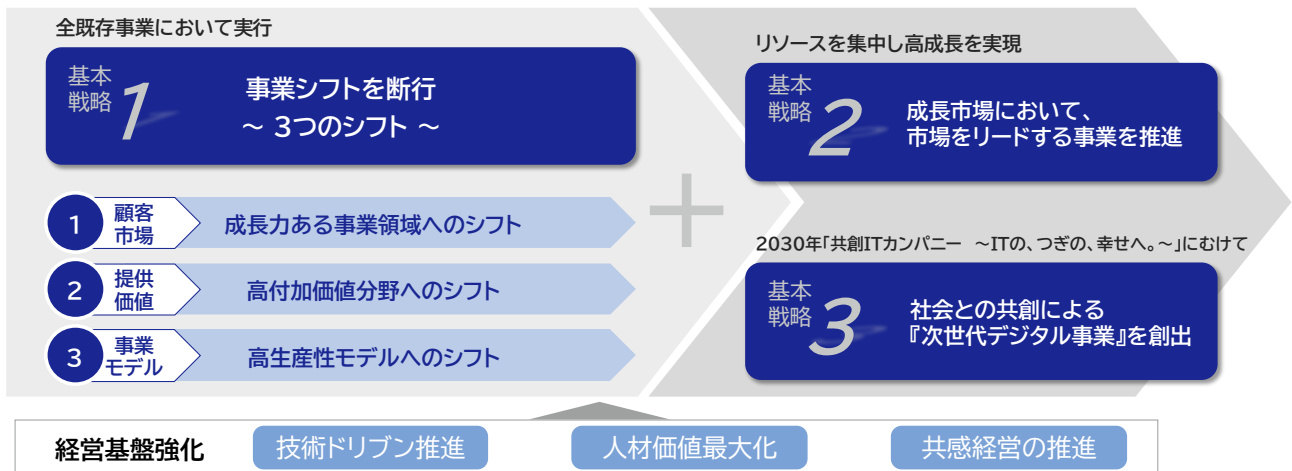
本中期経営計画は、「2030年 共創 IT カンパニー」に向けた第二期として位置付け、第一期(FY2020-FY2022)の基本戦略の施策を収益化・業績貢献に繋げるべく、以下の方針にて推進します。

<中期経営計画(FY2023-FY2025)方針>

”総合的企業価値”の飛躍的な向上に向け、

- ・ お客様や社会に対して、新たな価値を提供し続けるため、事業分野、事業モデルを再構築する
- ・ 社員の成長が会社の成長ドライバーと認識し、社員一人ひとりの市場価値を常に最大化する

3つの基本戦略と経営基盤強化策を推進します。

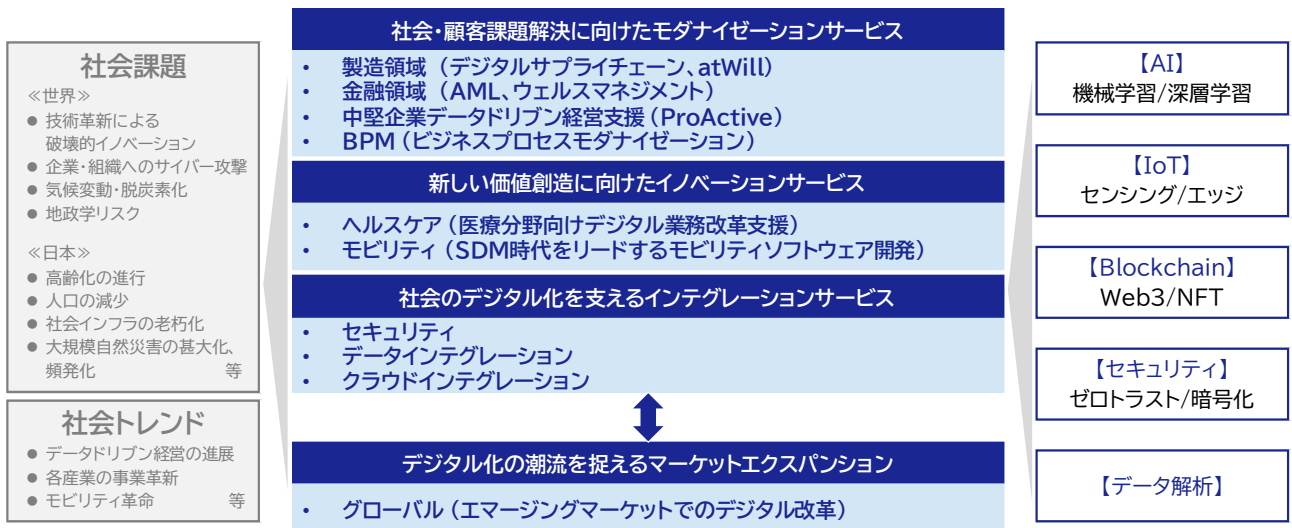


<基本戦略 1:事業シフトを断行～3つのシフト～>

- ・ 事業環境の変化に対応し持続的な成長に向け、事業分野・事業モデルを再構築します。
 - ・ 収益率の向上とともに、持続的成長への投資余力・成長余力を創出します。
- ① 成長力ある事業領域へのシフト
 - ② 高付加価値分野へのシフト
 - ③ 高生産性モデルへのシフト

<基本戦略 2:成長市場において、市場をリードする事業を推進>

- ・ クラウド・デジタル活用にて成長を期する市場・技術領域において、SCSKグループの保有する強みをもとに、市場成長への貢献と共に、SCSKグループの高成長を実現します。
- ・ 現有リソースにとらわれないリソース集中、先進技術を組織的に活用、継続的に対象事業を見出します。



<基本戦略 3:社会との共創による「次世代デジタル事業」を創出>

- ・ コア事業の知見を活かし、従来とは非連続な「次世代デジタル事業」、社会へ新たな価値創出をリードします。
- ・ SCSKグループ「マテリアリティ」を起点とした領域における継続的な事業の開拓・挑戦を行います。



GX領域
 社会のGX化の実現に向け事業を推進
 ・再生エネルギー普及促進
 ・カーボンマネジメント、等

地方創生・地域課題対応領域
 デジタル技術を活用した地方創生・課題解決領域への取り組みを推進
 ・デジタル通貨による地域経済活性化
 ・地域共創モデル開発、等

セキュリティ領域
 サイバー攻撃による脅威の激化を受け、安心安全なデジタル社会実現へ貢献
 ・先進技術を活用した不正対策、等

ヘルスケア～セルフケア領域
 ヘルスケア領域で培った知見にて、未病・予防による健康増進・セルフケア領域の課題解決へ貢献
 ・未病・予防実現及び医療費削減貢献、等

カスタマーエクスペリエンス領域
 デジタル技術を活用し、商品・サービスの利用における多様化する価値観・生活様式に対し、豊かな顧客体験を実現

ウェルスマネジメント領域
 人生100年時代において、豊かなセカンドライフを支えるため、デジタル技術を活用し、一人ひとりの金融リテラシーの向上、資産形成へ貢献

<経営基盤強化>

「技術ドリブン推進」

先進技術獲得による新たな価値創出・事業開拓、社会実装に向けた高度先進技術者の拡充を行うとともに、長年蓄積された業務ノウハウ・著作物等の知財化、全ての顧客フロントでの顧客課題解決に向けた活用促進による知財価値の向上、ファンド出資等を通じたベンチャー企業との協業等のオープンイノベーションの推進を一層強化します。

「人材価値最大化」

本中期経営計画の方針である「社員の成長が会社の成長ドライバーと認識し、社員一人ひとりの市場価値を常に最大化する」の実現のため、多様な人材が活躍できるよう、ダイバーシティ&インクルージョンの実践、Well-Being・健康経営の推進、事業戦略と人材ポートフォリオの最適化、処遇・報酬制度等による基盤整備を行います。

「共感経営の推進」

会社・トップマネジメント・リーダーと社員の双方が“共感”することで、一人ひとり、あるいは一企業では成し得ない、大きく・新たな価値を生む原動力となることを踏まえ、共感経営を推進してまいります。

<投資領域>

持続的な成長に向け、3年間総額 1,000 億円レベルの積極的な投資姿勢を継続していきます。

<経営指標>

	FY2022		FY2025
営業利益	513 億円	→	650 億円
営業利益率	11.5%	→	12.5%以上
ROE	14.4%	→	14%

※詳細は以下、「中期経営計画(FY2023-FY2025)」をご参照ください。

https://www.scsk.jp/ir/library/archives/pdf/scsk/20230428_mtp.pdf

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部

TEL:03-5166-1150

E-mail: pr.sp@scsk.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。